

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 快適な住まい

グループの名称 THMネット'99

直近採択グループ番号 04-0592-0057

(グループ代表者)

代表者名 齊藤 秀実 代表者印  
代表者所属先 株式会社クラフトワーク  
代表者所在地 岩手県花巻市大通り1丁目3-5ビジネスインキュベータ  
代表者電話番号 0198-22-5077

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社クラフトワーク  
事務局担当者名 多田 真弓 印  
事務局郵便番号 025-0092  
事務局所在地 岩手県花巻市大通り1丁目3-5ビジネスインキュベータ  
事務局電話番号 0198-22-5077  
事務局FAX 0198-22-5088  
事務局担当者E-mail craftwork1223@gmail.com

1. 地域型住宅の名称(必須)	快適な住まい
2. グループの名称(必須)	THMネット'99
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0592-0057
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県
5. 結成年(必須)	1999 年
6. グループ代表者名(必須)	齊藤 秀実
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社クラフトワーク
8. グループ代表者所在地(必須)	岩手県花巻市大通り1丁目3-5ビジネスインキュベータ1号室
9. グループ代表者電話番号(必須)	0198-22-5077
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社クラフトワーク
11. グループ事務局担当者名(必須)	多田 真弓
12. グループ事務局郵便番号(必須)	025-0092
13. グループ事務局所在地(必須)	岩手県花巻市大通り1丁目3-5ビジネスインキュベータ1号室
14. グループ事務局電話番号(必須)	0198-22-5077
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0198-22-5088
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	craftwork1223@gmail.com

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	10	製材事業者が国有林から原木を直接購入するため。
II. 製材・集成材製造・合板製造	12	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	3	
V. 設計	9	
VI. 施工	6	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	2	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	杉(集成材を含む)	岩手県	岩手県木材証明制度	1	国内
	赤松(集成材を含む)	岩手県	岩手県木材証明制度	1	国内
	桧(集成材を含む)	岩手県	岩手県木材証明制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			3	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		3	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			1	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			2	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		2	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			2	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		2	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限150万円)			3	戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		3	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限165万円)			1	戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	1. 事務局への仮申請(建築主名/建築住所/建築面積/建築予定期間/補助の型)をする。2. 建築確認申請書提出控を事務局に提出後、配分確定書3. 補助金対象戸数の調整が必要となった場合は事務局が調整する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適な住まい	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) THMネット'99	(結成年) 1999年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0592-0057	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○省エネ性能を重視。断熱等性能等級・H25年基準相当以上をスタンダードとします。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○地盤調査は5点以上の調査をします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○気候風土を考慮し、地域に配慮した植栽の提案を積極的に行います。	◎
④①～③の背景	○夏は35℃、冬は-15℃と寒暖差が激しい地域である。 ○地震や軟弱地盤(粘土層・火山層)の多い地域である。 ○風雪・やませの多い地域である。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○月1回の定例会を設け事業の進行状況や取組み方法など、情報の共有を強化する。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	○合理化委員会の中で検討していく。	
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ○合理化委員会を設置している。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ○制度情報や新商品の招集と周知。申請手続き業務。委員会等の招集。	◎
b.	○現場での安全基準の整備。	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容:	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ○地盤調査5ポイントを実施。 ○長寿命型・高度省エネ型の住宅瑕疵担保責任保険法人による現場検査。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: ○「一式」項目を極力なくし、メーカー・品番・数量・定価を明記、消費者に分かり易い表示にする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ○地域型住宅の現場見学会・完成見学会を開催する。(施主様承諾の場合のみ)	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○該当ありません。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適な住まい	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) THMネット'99	(結成年) 1999年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0592-0057	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○点検時期・点検項目・フォーマットの共通化。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○ハウスプラス・いえかてるなどを検討中。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施工業者と事務局のデータ保管。(CDデータ)	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○長期優良住宅認定基準項目のチェック。(構造・屋根・外壁・開口部・設備)	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○お客様に補修日程の連絡と完了の確認をすること。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○お客様に完了の確認をし、点検シートに日時を記載すること。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○構成員向けの講習会を年に1回開催。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○消費者向けの講習会・相談会を構成員参加型で年に1回開催。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○該当ありません。	
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○設置済み	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○該当ありません。	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○お客様の履歴情報は事務局が管理、履行が必要な時は施工構成員に斡旋する。(非住宅除く)	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施工構成員参加の勉強会(講師ハウスプラス)を実施。(1回)	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○技術基準・省エネ基準(外皮計算/一次エネルギー計算)の勉強会を実施。(年1回)	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○お客様との現場確認(点検)実施を検討中。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○該当ありません。	
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○該当ありません。	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○該当ありません。	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○該当ありません。	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 0	
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 5	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○開催日の連絡等の情報提供。受講者、合格者の把握。(事務局)	
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施工構成員の技術向上を図る目的でサーモカメラによる現場審査を実施。	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○該当ありません。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○未経験工務店が取り組みやすいように設計構成員の設計・申請サポートを実施する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適な住まい	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) THMネット'99	(結成年) 1999年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0592-0057	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅))の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】

a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	○使用量:1棟当たり80%以上(主要構造材)。 ○軸組工法の場合:岩手県産材10%以上、合法木材(国内国外)90%以下(使用量に対し)。 *但し、岩手県以外の供給対象地域の場合は合法木材(国内国外)100%(使用量に対し)とする。 ○2×4工法の場合:合法木材(国内国外)100%(使用量に対し)。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材    間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材    枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材    壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	[補足] ○国外からの原木や製材品を調達する場合など、一部の「Ⅰ.原木供給者」、「Ⅱ.製材事業者」を特定出来ない(構成員として記載できない)場合がある。 ○一部の「Ⅵ.施工」構成員においては、全て手加工による現場組を行うため「Ⅳ.プレカット」構成員を介さず「Ⅱ.製材・集成材・合板製造」構成員及び「Ⅲ.建材流通」構成員から調達を行う場合がある。2×4工法の場合も同様である。 ○合法木材の一部においては、産地・出荷者が多岐にわたり、「Ⅰ.原木供給者」や「Ⅱ.製材事業者」の特定が困難な場合がある。その場合「Ⅱ.製材・集成材・合板製造」及び「Ⅲ.建材流通」に所属する出荷者による合法性の証明によって代替えます。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○建材流通構成員が中心となり地域材の在庫・納期情報を施工構成員グループに提供、情報の共有を図ります。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○建材流通構成員が中心となり地域材の価格情報を施工構成員グループに提供、情報の共有を図ります。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○1棟当たり約8m <sup>3</sup> ×供給予定戸数12戸=96m <sup>3</sup> ○2017年6戸、2018年6戸	◎
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○該当ありません。	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○該当ありません。	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○該当ありません。	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○地元地域に根ざした質の高い住宅のご提案	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○良好な地域の町並み形成に寄与するデザインのご提案	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○該当ありません。	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○地元岩手県で「暖かく快適な住まいづくり」と「岩手県産木材の活用」をテーマに地域に根ざした家づくりの推進。 ○現団体(THMネット'99)のホームページ、住宅展示場(THMネットエコタウン)を、お客様への地域型住宅グリーン化事業の情報提供の場として活用してゆく。	

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	○地域住宅生産者グループとして登録、モデルプランを提案しています。 ○地元の木材はもとより、被災3県で生産された資材をできる限り多く使用することに努めております。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	○該当ありません。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適な住まい	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) THMネット'99	(結成年) 1999年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0592-0057	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

○認定低炭素住宅

<性能>一次エネルギー消費量等級5以上。

<特徴>低炭素化に資する措置、2項目(認定に必要な項目)以上に該当。

設備に頼らない住宅性能重視のゼロ・エネルギー住宅。地域材も活用する。

○性能向上計画認定住宅

<性能>一次エネルギー消費量等級5以上。

<特徴>設備に頼らない住宅性能重視のゼロ・エネルギー住宅。地域材も活用する。

○ゼロ・エネルギー住宅

<性能>一次エネルギー消費量等級5以上。

<特徴>設備に頼らない住宅性能重視のゼロ・エネルギー住宅。地域材も活用する。